

事務事業の概要・計画 (PLAN)

事務事業名	体育大会補助事業	会計名称	一般会計		担当課	社会教育課	
		予算科目	10 款 6 項 2 目	事業番号	5040	所属長名	森田誠司
事業評価の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 評価対象事業 <input type="checkbox"/> 評価対象外事業 (事業の概要・結果のみ)				担当責任者名	高井由美子	
法令根拠等	スポーツ基本法、社会教育法、教育基本法、伊予市社会体育大会等出場助成金交付要綱				実施期間	【開始】	平成 17 年度
総合計画での位置付け	生涯教育都市の創造 誰もが親しめるスポーツ・レクリエーションの振興					【終了】	平成 年度(予定) <input checked="" type="checkbox"/> 設定なし
総合計画における本事業の役割	誰もが親しめるスポーツ・レクリエーションの振興						
事業の対象	愛媛スポ・レク祭及び愛媛県スポーツ少年大会参加者			事業の目的	大会参加費、派遣費を支給し、大会参加の便宜を図るとともに、市民の健康増進に寄与し、スポーツの健全なる普及発展を図る。		
事業の内容 (整備内容)	大会の案内及び大会参加費、派遣費 (助成金) の支給			昨年度の課題に対する具体的な改善策			

事業活動の内容・成果 (DO)

事業費及び財源内訳 (千円)							事業活動の実績 (活動指標)					
項目	前年度決算	当初予算額	補正予算額	継続費その他	翌年度繰越	決算額	項目	単位	28 年度実績	29 年度予定	9月末の実績	29 年度実績
直接事業費	1,354	681	980	0	0	1,239	愛媛スポ・レク祭派遣 愛媛県スポーツ少年大会派遣	団体	24	27	0	22
財源内訳												
国庫支出金		0	0	0	0	0						
県支出金		0	0	0	0	0						
地方債		0	0	0	0	0						
その他		0	0	0	0	0						
一般財源	1,354	681	980	0	0	1,239						
職員の人工 (にんく) 数	0.30	0.30				0.30						
1人工当たりの人件費単価	8,086	8,017				8,017						
※ 直接事業費+人件費	3,780	3,086				3,644						
主な実施主体			実施形態 (補助金・指定管理料・委託料等の記載欄)									
向こう5年間の直接事業費の推移 (千円)					30 年度	31 年度	32 年度	33 年度	34 年度	5年間の合計		
					1,200	1,200	1,200	1,200	1,200	6,000		
成果指標	指標	大会参加者の便宜とスポーツの振興				⇒	区分年度	28 年度	29 年度	30 年度	目標 毎 年度	
	指標設定の考え方	大会参加を容易にし、スポーツの振興を図る					目標	40	40	40	40	
							実績	41	37			
指標で表せない効果												

事務事業評価 (CHECK)

新たな課題や当初の改善策に対する対応状況 (今年度の途中経過)		市の予算額の減少により、これまでどおりの助成が難しくなってきたため、社会体育大会等出場助成金交付要綱の助成金の額を減額することにより来年度以降もこの事業を続けられるよう検討した。											
事務事業評価	自己判定 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	5 4 3 2 1 この事業では施策の目的を果たすことができない。	5	合計点が	A	事業成果・工夫した点 事業の苦労した点・課題	A	交付要綱の改正により、平成30年4月以降の助成金の額を変更した。			
			社会情勢等への対応	5 4 3 2 1 社会情勢等のニーズに合致する。又は、行政管理上必要な事業である。	3						14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D		
			市の関与の妥当性	5 4 3 2 1 社会情勢又は行政管理事務に対応しておらず、見直しが必要である。	3								
		有効性	事業の効果	5 4 3 2 1 市は関与しないで、民間や市民団体に委ねるべきである。	4	合計点が							
			成果向上の可能性	5 4 3 2 1 市民生活や行政内部の課題解決に大いに貢献している。	3						14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D		
			施策への貢献度	5 4 3 2 1 市民生活や行政内部の課題解決になっていない。	3								
	効率性	手段の最適性	5 4 3 2 1 既に相応の成果を得ているが、まだまだ成果向上の余地がある。	4	合計点が								
		コスト効率	5 4 3 2 1 今後、成果の向上が期待でき、事業継続の必要がある。	3		14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D							
		市民 (受益者) 負担の適正	5 4 3 2 1 目的は十分達成されており、事業継続の必要性は低い。	5									
	一次判定 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	5 4 3 2 1 この事業では施策の目的を果たすことができない。	4		合計点が		A		事業の方向性 所属長の課題認識	A	<input type="checkbox"/> 事業継続と判断する。 <input checked="" type="checkbox"/> 事業縮小と判断する <input type="checkbox"/> 事業廃止と判断する (判断の理由) スポレク県大会及びスポーツ少年大会等への参加費補助をすることにより、市民の生涯スポーツの推進を図る。ただし、助成金額については、市の財政状況や周辺市町の状況も参考に減額を検討する。
			社会情勢等への対応	5 4 3 2 1 社会情勢等のニーズに合致する。又は、行政管理上必要な事業である。	3	14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D							
			市の関与の妥当性	5 4 3 2 1 社会情勢又は行政管理事務に対応しておらず、見直しが必要である。	3								
有効性		事業の効果	5 4 3 2 1 市は関与しないで、民間や市民団体に委ねるべきである。	4	合計点が								
		成果向上の可能性	5 4 3 2 1 市民生活や行政内部の課題解決に大いに貢献している。	3		14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D							
		施策への貢献度	5 4 3 2 1 市民生活や行政内部の課題解決になっていない。	3									
効率性	手段の最適性	5 4 3 2 1 既に相応の成果を得ているが、まだまだ成果向上の余地がある。	3	合計点が									
	コスト効率	5 4 3 2 1 今後、成果の向上が期待でき、事業継続の必要がある。	3		14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D								
	市民 (受益者) 負担の適正	5 4 3 2 1 目的は十分達成されており、事業継続の必要性は低い。	4										

施策を踏まえた判断	二次判定	<input type="checkbox"/>	一次判定結果は以下の点について良好と評価し、更なる事業推進を求める。	⇒ 指摘事項を踏まえ、事務改善、事業推進に努め、今年度の事務事業評価シートに反映させること。
		<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業継続と判断する。	
		<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業継続と判断するが、以下の課題を新たに追加する。	
		<input type="checkbox"/>	一次判定は以下の点について外部評価が必要と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業縮小と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。	
		<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業廃止と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。	
		<input type="checkbox"/>	既に事業廃止が決定していることから、廃止に向けた手続を行う。	

行政評価委員会の答申	外部評価	<p>答申の内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・財政状況が厳しい中、それに応じた助成をしないといけない。助成額が減ってもすぐに影響はないと思う。減額方向でいいのではないかと感じた。 ・自らの責任というところは賛成である。競技をする人が個人で負担するのが基本だと思う。 ・児童・生徒には少しでも補助があれば励みになると思う。難しいと思うが少しでも継続する方法を考えるべき。 ・団体ではなく基盤整備をした方が良い。縮小は仕方ないと思う。努力の様子も見られており、着実にされていると思った。 ・縮小の方向は致し方ないというか、そういう方向であるので、それはそれで良いと思う。 ・スポーツ少年団なら協賛企業を募っていく方法もある。時間をかけて参加者の自己負担とすべきである。
------------	------	--

今後の方向性 (ACTION)

の経営者判断	事業の方向性		コメント欄 児童・生徒には少しでも補助があれば励みになるため、青少年育成の観点から継続はしていく。大人に関する競技スポーツは今後動向を注視しながら、縮小の検討を行うこと。
	<input type="checkbox"/>	さらに重点化する。	
	<input type="checkbox"/>	現状のまま継続する。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	右記の点を見直しの上、継続する。	
	<input type="checkbox"/>	事業の縮小を行う。	
	<input type="checkbox"/>	事業の休止、廃止を行う。	